

社団法人地盤工学会 平成 21 年度 第 11 回総務部会
議 事 録

日 時：平成 22 年 3 月 5 日（金）14:00～16:00	場 所：学会 3 階会議室	
出席者：風間 基樹 部長	村上 章 副会長	坪田 邦治 理事
奥野 哲夫 理事	桑野 玲子 部員 ×	田中 耕一 部員
西江 俊作 部員	松島 亘志 部員 ×	宮田 喜壽 部員 ×
事務局：戸塚 弘	事務局：浅野 有三	

（議事録担当者： 田中 部員）

（ : 出席、× : 欠席）

議 題：

【報告事項】

1. 経理関係報告：2 月末経理報告は丸善売上状況が提出されないため間に合わず。
坪田理事より追ってメールで報告される予定。
2. 広報関連
2/24 第 3 回メディア懇談会（宅地造成の耐震性）を開催した。マスコミより 12 名の参加があった。次回は 5 月に「自然災害軽減のための学協会連携」をテーマに開催する予定で調整中。
3. 第 3 期代議員選挙結果（3/8 締切）
代議委員選挙 全員信任された。 [別紙 - 1] p. 1
4. その他
 - 1) 第 59 回理論応用力学講演会の運営委員の推薦依頼
地盤工学会からの運営委員として名古屋大学 野田利弘氏を推薦した。
 - 2) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）に基づく体制整備及び運用の徹底等について」<文部科学省科学技術・学術政策局よりの通知> [別紙 - 17] p. 106(当日)配布
文科省より公的研究費の管理・監査に関し不正対応を徹底するよう通知があった。地盤工学会では、対応済みである。

【審議事項】

1. 平成 21 年度決算見込み及び平成 22 年度最終予算案 [別紙 - 2] pp. 2-5、[別添資料 - 1]
平成 21 年度の決算見込み
前年度に比べ会費収入が 8%程度減少している。正会員数の減少が年間 400～500 人、特別会員の減少も続いている。事業活動収支の部で、補正後の決算は 1,134 万円となる見込み。
平成 22 年度予算
収入と支出をバランスさせている。ただし、会費収入は 21 年度と同額と仮定している。また、地盤材料試験の方法と解説、DVD のかなりの売り上げを見込んでおり、収支は、楽観視出来ない状況にある。
上記を確認し了解された。
2. 平成 22 年度支部予算案 [別紙 - 3] pp. 6-24
予算案が報告され了解された。
3. 対外発表報告関連 [別紙 - 4] pp. 25-30
広報委員会より、各支部のマスコミ対外発表結果を、広報委員会に報告する制度化に関して説明があった。報

告書提出の目的を明確にしないと支部からは、煩雑との指摘を受ける恐れがあると指摘された。報告の必要性に関し再度、広報委員会内で検討することとなった。

4. 平成 22 年度事業計画まえぶん及び本文（本部関係 + 支部関係）〔別紙 - 5〕 pp. 31-45
支部の記述内容に関し一部文面を修正することとした。修正作業量が多い関東支部には田中部員から連絡を入れる、九州支部には、まえぶんと本文の整合を取ってもらう、他の支部には学会事務局より修正依頼の連絡を入れることで了解された。
5. 第 2 期代議員への総会開催案内および第 3 期代議員への当選の通知〔別紙 - 6〕 pp. 46-51
代議員への総会案内および当選通知案内を了承した。なお、公益社団法人に移行した場合の代議員の取扱いについて、公益法人制度改革にあった代議員の選出方法に基づき総会で承認することで、第 3 期代議員が引き続き代議員の職務を行うことを確認した。
6. 地盤工学会誌等の広告契約の件（継続審議）〔別紙 - 7〕 pp. 52-55
広告収入の責任額を決めた契約は実施困難である、との広告代理店の回答を検討した結果、目標額を予算額の 1,440 万円とすることで了承された。
7. 平成 21 年度支部交付金（21.10.1 - 22.2.28 後期分）の送付〔別紙 - 8〕 p. 56
支部交付金は、総額 5%削減で了承された。
8. 公益法人化の件
 - 1) 各部規程の変更（会員・支部部、国際部、会誌部、事業部、調査・研究部、基準部）〔別紙 - 9〕 pp. 57-74,〔別紙 - 9'〕 p. 74-（当日配布）
各部の規程案に関して審議された。会員・支部部に関しては、内容を西江部員に確認してもらうこととした。会誌部は、役職に関する記述が実際の組織と整合が取れていない。松島部員の意見を総務部の意見として、会誌部に修正を依頼することとした。調査・研究部は、第 2 条「…部員で構成し、」を「…部員で構成され、」と修正する。上記以外の部の内容は了承された。
 - 2) 各支部規程の変更（東北支部、関西支部）〔別紙 - 10〕 pp. 75-84
支部の規程 東北支部は問題なし。関西支部は、支部評議員会ですでに承認済みであるが、西江部員に内容をチェックしてもらうこととした。
 - 3) 減価償却積立資金規程の変更〔別紙 - 11〕 p. 85
減価償却積立資金では別表 C(4) の数が多くなってしまい、今後の取扱いも煩雑である、との税理士からのアドバイスで、認定申請書類を減価償却積立資金から建物取得資金に変更した。これに伴い、積立資金規程も減価償却から建物取得に変更することが必要になった。第 2 条中の「買換え」を「建物再取得」に修正し承認された。
9. その他
 - 1) 共催、後援、協賛等の依頼【 は総務部長の承認済】〔別紙 - 12〕 pp. 86-87
「第 5 回定例セミナー」の後援 主催：NPO 国境なき技師団 H22.3.12
の依頼 承認された。
 - 2) HP、メールニュース等による会員への周知【 ~ は総務部長の承認済】〔別紙 - 13〕 pp. 88-96,〔別紙 - 13'〕 pp. 96- ~（当日配布）
「運輸分野における基礎的研究推進制度」課題募集
募集締切日：平成 22 年 4 月 5 日（月） 鉄道・運輸機構よりの依頼
「平成 23 年度採用分特別研究員、特別研究員 RPD」の募集（独）日本学術振興会よりの依頼
「九州の自然災害を考える - 災害調査報告会 & 市民フォーラム - 」の案内

平成 22 年 3 月 19 日 (金) 開催 安福規之 氏 (九大) よりの依頼
「北海道大学大学院工学研究科 教員」の公募

公募締切日：平成 22 年 6 月 1 日 (火) 田中洋行 氏 (北大) よりの依頼
～ の依頼 承認された。

3) 議事録の確認

2/16 総務部会 [別紙 - 14] pp. 97-100

議事録内容 承認された。

2/24 運営連絡会議 [別紙 - 15] pp. 101-103

議事録内容 確認された。

4) 次回の総務部会、理事会等の開催期日の確認

公益法人化に関する打合せ 3/5(金) 16:30～18:00

正副会長会議 3/19(金) 13:00～14:00

理事会 3/19(金) 14:00～17:00

総務部役員会 4/9(金) 14:00～15:00

総務部会 4/9(金) 15:00～17:00

総務部会終了後 懇親会を開催する予定である。なお、新理事、新部員候補者にオブザーバー参加要請を依頼する。

5) 各部からの 3/19 理事会提出議題の確認 [別紙 - 16] pp. 104-105

現時点での各部議題案を確認した。

6) 総務部からの 3/19 理事会提出議題の確認

審議事項：平成 21 年度決算見込み及び平成 22 年度最終予算案、平成 22 年度支部予算案、平成 22 年度事業計画まえばん及び本文 (本部関係 + 支部関係)、地盤工学会誌等の広告契約の件、平成 21 年度支部交付金 (21.10.1 - 22.2.28 後期分) の送付、公益法人化の件

報告事項：経理関係報告、広報関連、第 3 期代議員選挙結果 (3/8 締切)、第 2 期代議員への総会開催案内および第 3 期代議員への当選の通知、第 59 回理論応用力学講演会の運営委員の推薦

風間総務部長と事務局で確認することとした。

7) その他

平成 23 年 5 月の総会開催予定日がアジア地域会議と重なっているので、総会日程を 5/30 あるいは 5/31 に変更することで調整することとした。

以上